

写真アプリ × 地域活性化 × 旅行

要旨

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES



観光庁によりまとめられた観光客数を見ると、高知県は他都道府県に比べて少なく、少子高齢かつ過疎化が進んでいるという現状にある。その現状を解決するためには、現状を多くの人に発信する必要がある。SNSは若者を中心に発達しており、「発信」に特化したツールだといえる。実際に地域活性化を図ろうとしている地域から利用者へ直接発信する場所を作ること、地域の認知度が上がり、地域活性の橋立になると思ったから。流行が起こりやすい若者の注目を集めるために、SNSにかかせない「カメラ・写真」アプリを組み合わせることにした。これはSDGsの[11.a]各国・各地域の開発計画を強化することにより、経済・社会・環境面における都市部、都市周辺部、農村部の間の良好なつながりをサポートする。に關係する。SDGsの11「住み続けられるまちづくりを」を目指し、地域の発展と、観光客の増加を促す企業案を考えていく。

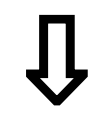
目標と計画

[高知県の現状]

高知県の観光客数が全国的に少なく、少子高齢化・過疎化がすすんでいる。地域活性化を図っている地域もある。



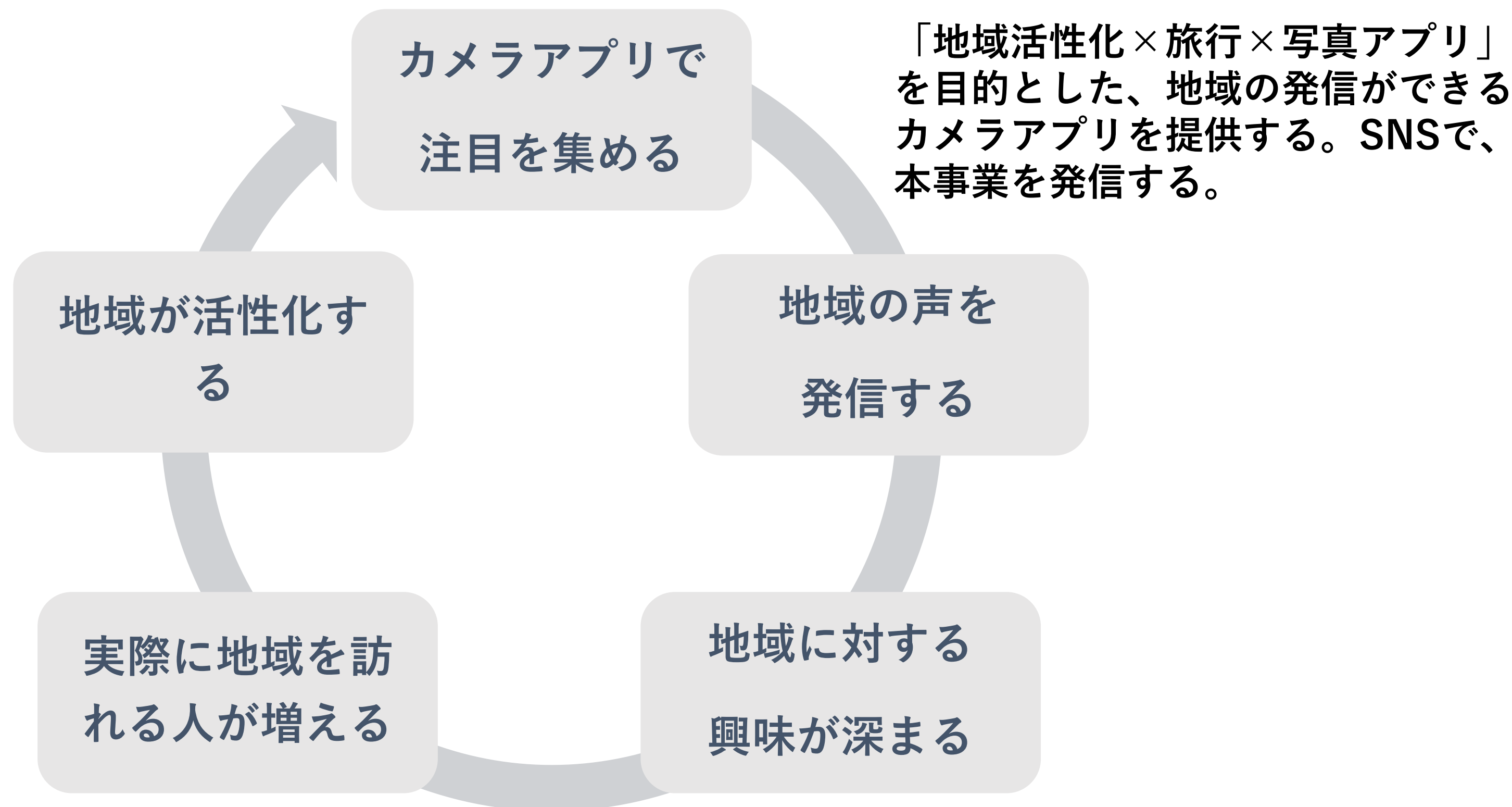
地域活性化している地域をサポートし、知名度を上げ、観光客を増やす。



広く普及したSNSを用いて、若い世代を中心にインターネット利用者に向けて「地域活性化 × 旅行 × 写真アプリ」をテーマに地域をサポートする。

[本事業のミッション]

日本の現実的な地域過疎問題をSNSの普及と需要を活用して解決する



[評価基準]

『現実味のある起業案を考える』

- ①ぼんやりとした構想が頭の中にある
- ②構想は練れてきたが、不明確な部分があり、パワーポイントが不十分
- ③少々現実味がないが、計画としては成り立っている
- ④現実味のある計画が立てられている

『協力してわかりやすい資料を作成する』

- ①プレゼンテーションの資料のタイトルが作成できた
- ②わかりやすさと完成度が50%のプレゼンテーションの資料が作成できた
- ③わかりやすさと完成度が80%のプレゼンテーションの資料が作成できた
- ④2人で協力してプレゼンテーションの資料を完成させた

企業概要

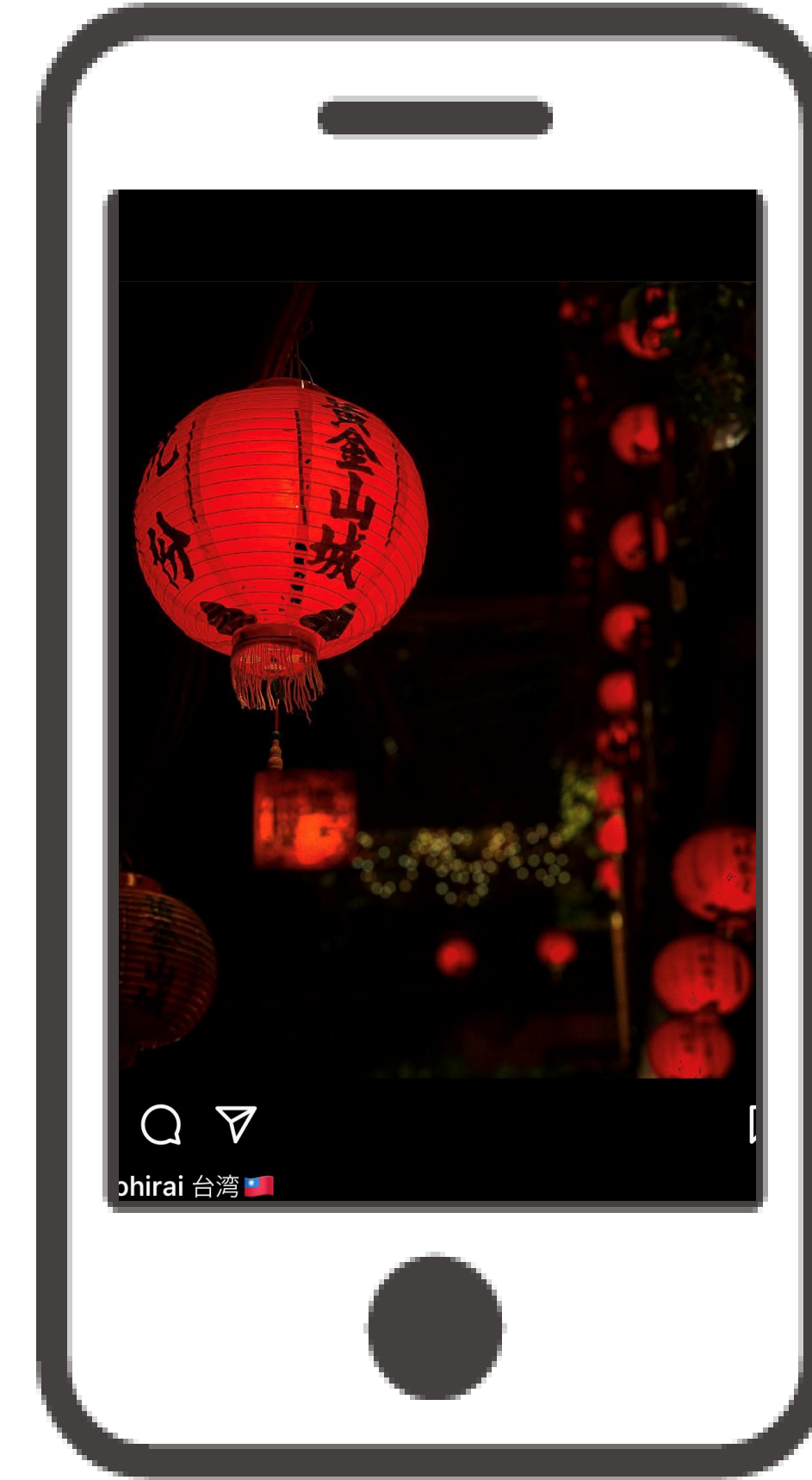
[提供する内容]

地域

- 地域の情報をアプリ内で発信
- 地域の認知度の向上

アプリ利用者

- カメラアプリの利用
- 旅行先の写真や意見の共有



アプリ利用者に向けて

- ① **写真の投稿**
旅の写真の投稿ができるSNS機能
- ② **旅のしおりの作成・シェア**
旅行プランの共有や、他の旅行者のしおりを参考にできる
- ③ **チャット機能**
旅の予定のログが見やすい地域に質問できる
- ④ **撮影機能**
フィルターやエフェクトで旅の写真を撮影できる

地域に向けて

- ① **アプリ内での宣伝・広告**
旅行好きのアプリ利用者へ宣伝できる
- ② **地域の特集記事の発信**
地域の魅力を写真と共に紹介
- ③ **企画、キャンペーンの開催**
地域に旅行に来てもらえるような企画の開催をアプリ内でする



プロジェクトの成果・まとめ・展望

[プロジェクトの成果]

評価基準①『現実味のある起業案を考える』

→ 4. 現実味のある計画が立てられている

高知西高校全生徒に向けてアンケートを実施し、アンケート結果をもとに、より顧客のニーズに合った根拠のある企業案を考えた。

評価基準②『協力してわかりやすい資料を作成する』

→ 3. わかりやすさと完成度が80%のプレゼンテーションの資料が作成できた

企業案をプレゼンテーションをするにあたり、事業計画書の資料を作成した。ポスターと事業計画書の作業を分担し、ほぼ完成させた。事業計画書には、支出計画・アクションプラン・顧客ターゲット・目標などを記入しわかりやすい資料になるよう作成した。内容はわかりやすいものとなったが、完成度が不十分な箇所があるため評価基準の3とした。

[プロジェクトのまとめ]

このプロジェクトを通して地域の課題を考えるとともに、その課題をどのように改善するか、私たちにできることは何かというものを深く考えることができた。また、今まで体験したことのない起業はどうすればできるのか、どのようにアイデアを出すのか、ということが知れた。今後の探究活動や、将来の進路につながる活動ができた。

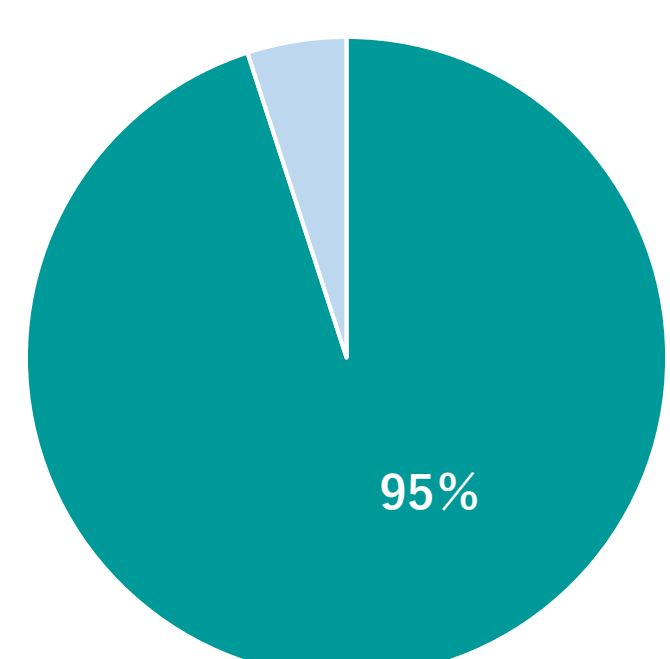
[今後の課題・展望]

まだ自分たちの企業案はプレゼンテーションしたことがないので、これからのプレゼンテーションで意見をもらい、より良い企業案に改良していく。

プロジェクトの実施内容

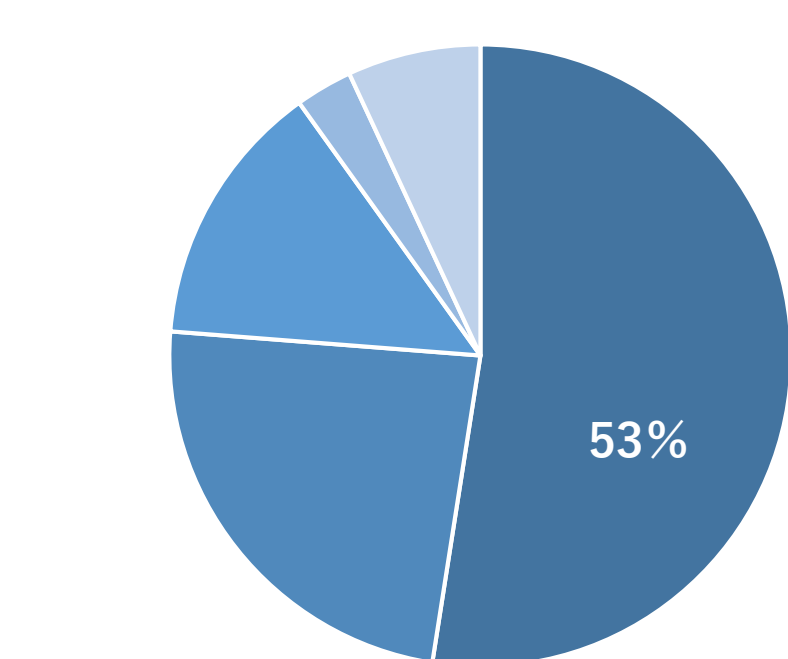
[アンケートの実施]

料金の支払いが発生するアプリを使いたいと思いますか



お金を使ってアプリを使いたくない人が95%
→ 無料アプリの作成

旅行場所に行こうと思うきっかけ



旅行に行く際にSNSを参考にするひとが53%
→ SNS × 旅行という発想

参考文献

<https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/toukei/irikomi.html>